

①大谷家、村川家の鬱陵島、竹島渡海について伝える資料



鬱陵島、竹島への渡海について後年まとめた本

竹島考

1828年(文政11年)

資料概要

鳥取藩で要職にあった岡嶋正義という武士が、大谷・村川両家の事業などについて後年に編纂したもの。渡海の経緯、鬱陵島、竹島の地理やアシカなどの産物について記している。上巻に鬱陵島への渡海ルート of 絵図が含まれ、鬱陵島と竹島についての地理について説明する記述が含まれている。なお、本書中に「竹島」とあるのは鬱陵島、「松島」とあるのは竹島のこと。

内容見本

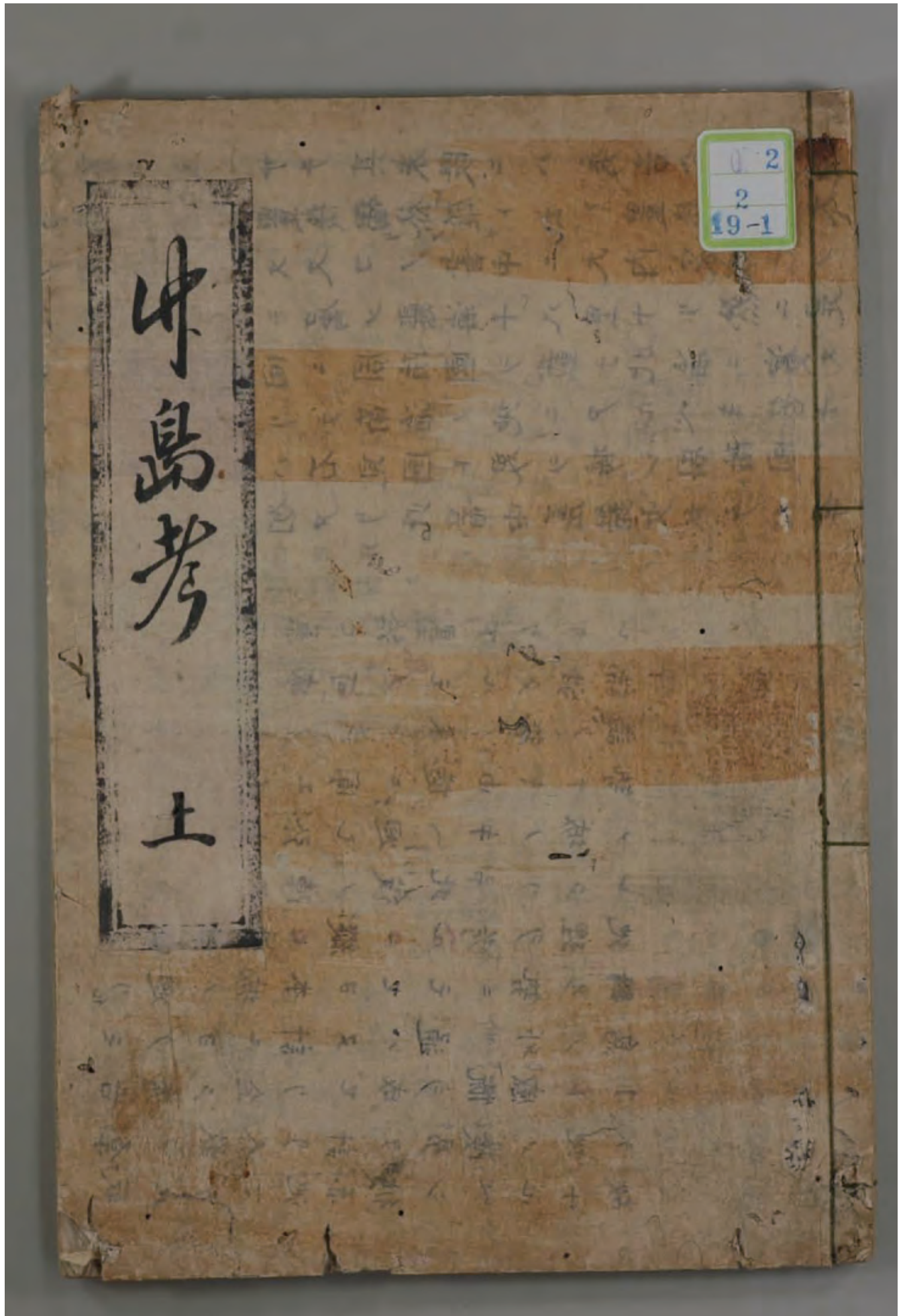
毎年二三月ノ比船ヲ整ヒ米子ヲ発船シ隠岐國ニ船ヲ繫留四月上旬ノ比順風便潮ヲ俟テ帆ヲ開キ先松島ト云小嶼ニ船ヲ寄テ漁獵ヲ始メ其レヨリ竹島ヘ渡海シテ夏ノ間所務ヲ成シ秋ニ逾テ飯船スル也

現代語訳

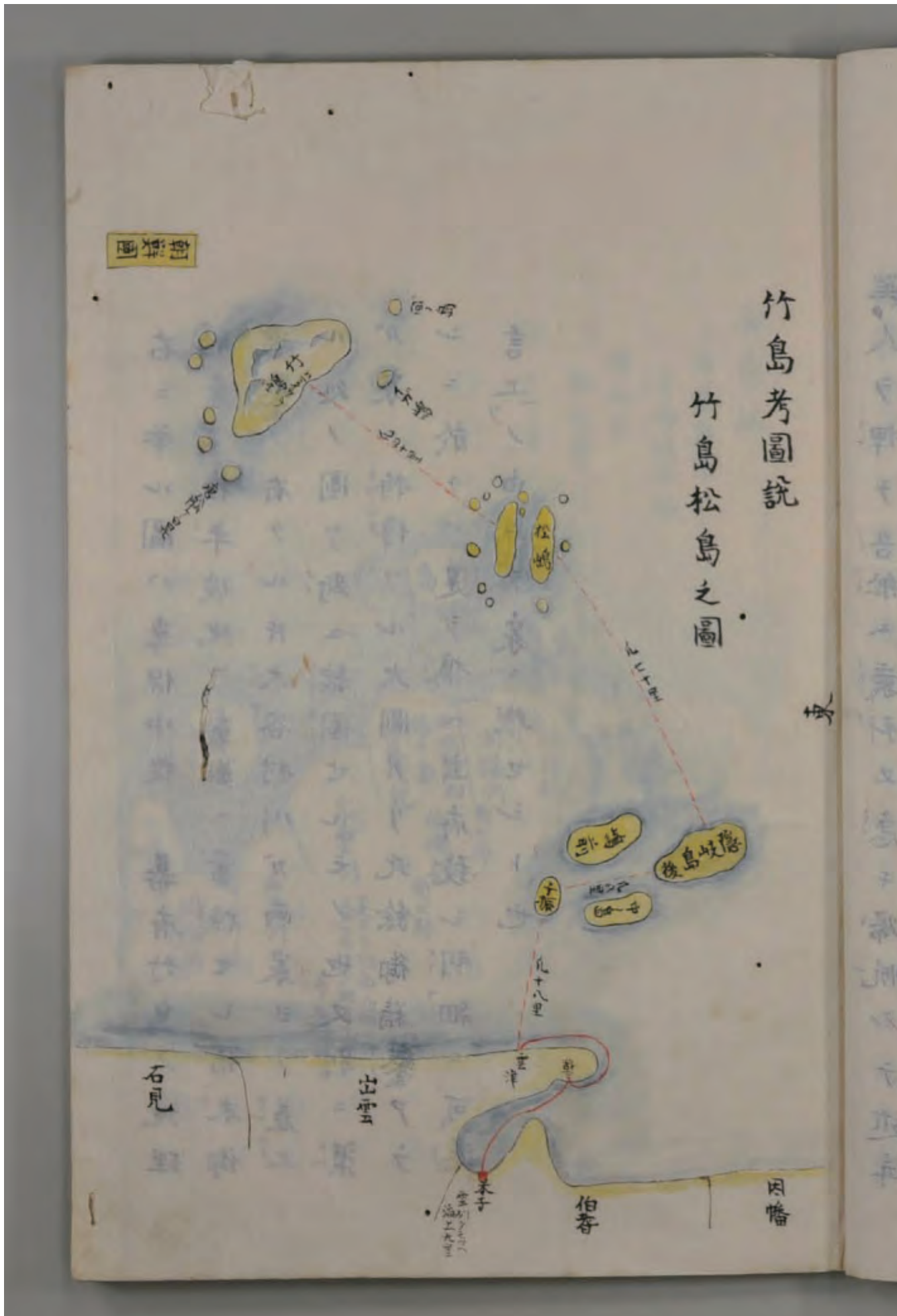
毎年二、三月頃船を整備して米子を出発し、隠岐国に船を繫留し、四月上旬頃、順風と良い潮を待つて帆を開き、まず松島(現在の竹島)という小島に寄って漁獵を始め、それから竹島(鬱陵島)に渡海して夏の間操業し、秋に帰帆した。

作成年月日	1828年(文政11年)
編著者	岡嶋正義
発行者	-
収録誌	-
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	鳥取県立博物館
利用方法	鳥取県立博物館で利用手続きを行う(岡嶋家資料)

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。



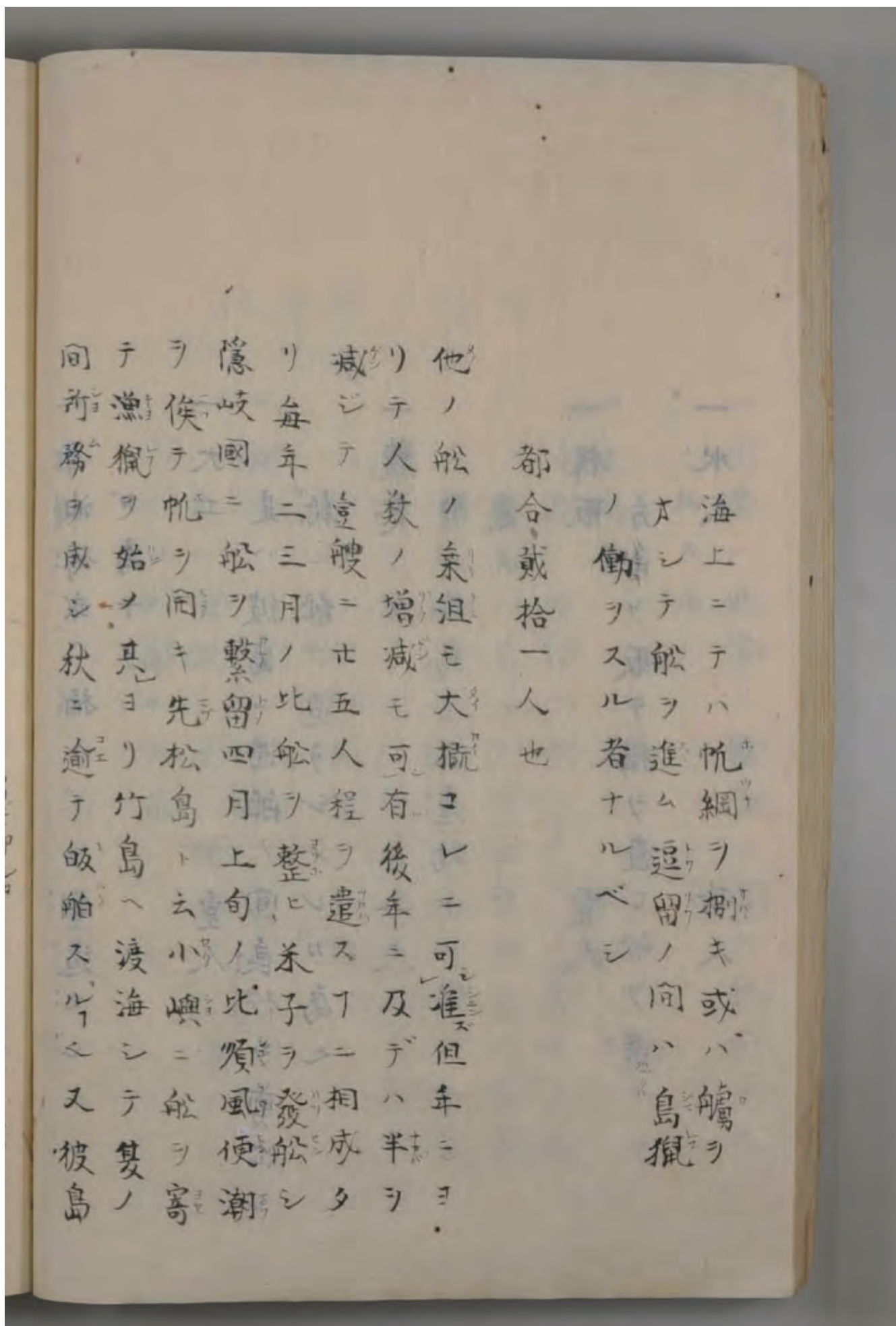
本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。



本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。

右ニ挙ル圖ハ享保中從_二幕府_一竹島ノ地理
物産並往年彼地又朝鮮へ奪掠セシ始末御
穿鑿_ニ有ケル片大谷村川ガ兩家ヨリ差上
ル処ノ圖ヲ斯ニ縮圖セルモノ也又別ニ渠
ガ家ニ持傳フル大圖アリ此餘御精鑿_ニア
ンニ於テハ是ヲ携へ出府致シ明細ニ可_レ遂
言上_一ノ由ニテ家ニ残セシト也

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。



本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。

家集

ニテ専トセル産物ハ鰐海鹿ノ兩種ノ海鹿
一名ヲミナト云海濱ノ岩頭ニ上ルヲ伺テ
鉄炮ニテ打捕皮ヲ剥ギ油ヲ煎スルノ其油
ハ燈ニ用ルニヤ又他ニ調法アルニヤ未詳
之ヲ和漢ニテ圖繪ニ云海鹿昂海獺也但本草
謂頭如馬者差耳紀列有海鹿島多群居每好
眠上島上鼾睡唯一頭換四方若漁舟来則誘
起悉轉入水中潛游甚速而難捕其肉亦不
美唯熬油耳西國處々亦有之其聲畧似犬如
宇蓋海獺海鹿一物出備考合

我戀ハアシカラ子ロフ蝦夷船ノ
ヨリミヨウスミ波間ヲツニツ 仲正